

学校名	松代中学校		
ホームページURL	生徒数 700 名		
(1) テーマ 「私達の21世紀をみつめて」 ～具体的活動から多角的、多面的に 研究する～ 2年5組のテーマ 「21世紀に残したい松代の 自然と文化と風俗」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 2 年		
(3) 活動のねらい ・学年のテーマを受け、自分達の興味・関心から出発した課題を班毎に追究する活動を通し、学び方やものの考え方を身につけ、問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育てる。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 7月～12月まで各班毎の計画に従い、調査活動を実施、文化祭で中間発表をした。 各班のテーマは以下の通り 松代の昔話 絶滅種と危惧されるメダカの養殖 松代の温泉 松代焼き 松代の饅頭 松代のおやき作り 時数(16)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 校内での調査活動等は、校内施設利用届けを提出し、居場所の確認。 電話利用も多数あるので、電話利用届を提出し自由に利用させる。 校外に出たの調査活動は、事前に校外調査届けを提出し、担任 学年主任 教頭という形をとり、生徒の校外での居場所確認を行った。 地域内の人材の発掘については、生徒の方で調べてくる形をとったため、教師側は相談に乗る程度。 副担とのペアであるが、必ずそのクラスに副担がいるわけではないので、事実上担任一人で6つのグループを指導した。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) 家庭へは、当日の日程等についてのプリントを配布し、理解を求めた。 当日の生徒の動きを事前に把握し、生徒の動きの把握に努める。 もしもの場合の連絡手段、教師の動きを事前に確認しておく。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・文化祭における発表を一つの評価の場として考えて、生徒にまとめさせた。 ・本年度は、生徒がどのような題材や教材に興味を持って取り組み、追究できるのかを研究するレベルで、生徒一人一人の個人内評価までは至っていない。			
(8) 成果と課題 <成果> はじめての総合的な学習の段階では、2年生でも、生徒一人では課題をつかむことは、今の段階では出来ないということが分かった。やはりグループかクラスで共通の課題を一つ決めて、教師がリーダーシップをとっていかないと学習が継続しないということが分かった。 <課題> ・教師のアイデアが重要であるということを感じる。今回、担任が一人で6つのグループの課題を担当したが、やはり一人では限界がある。 ・教科の中で課題解決学習をかなりやっておいた上で、総合的な学習につなげていく必要がある。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(ア 国際理解 イ 情報 ウ 環境
エ 福祉・健康 オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
学校の特色に応じた課題